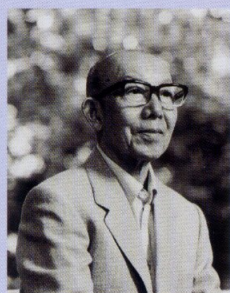


東山魁夷展



残 照 (昭和22年)



なぜ今日 私は涙が落ちそうになるほど感動したのだろうか
なぜ あんなにも空が遠く澄んで 連なる山並みが落ち着いた威厳に充ち
平野の緑は生き生きと輝き 森の樹々が充実した たたずまいを示したのだろうか
今まで旅から旅をしてきたのに、
こんなにも美しい風景を見たであろうか……

東山魁夷「風景との対話」

平成10年
6月27日(土)~8月2日(日)

休 館 日 毎週月曜日、ただし7月20日は開館、翌21日休館

開館時間 午前10時~午後6時(入館は5時30分まで)

ただし毎週金曜日は午後8時まで(入館は7時30分まで)

〔主 催〕 千葉市美術館／日本経済新聞社

〔協 力〕 長野県信濃美術館 東山魁夷館

〔入場料〕 一 般 1,000円(800円)

大・高生 700円(560円)

中・小学生 300円(240円)

()内は前売り・団体料金

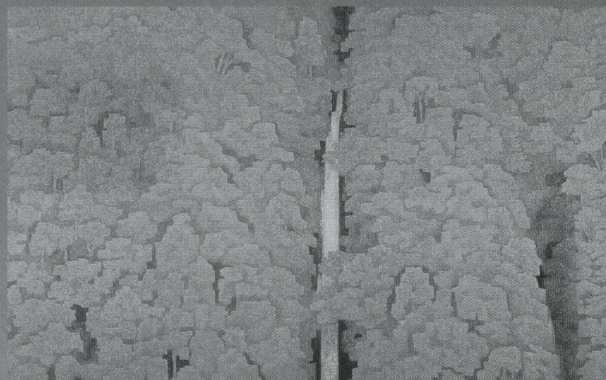


千葉市美術館

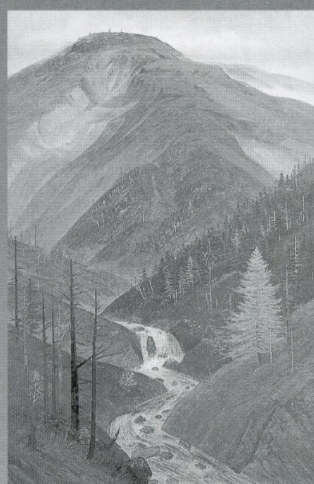
Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 Tel.043-221-2311

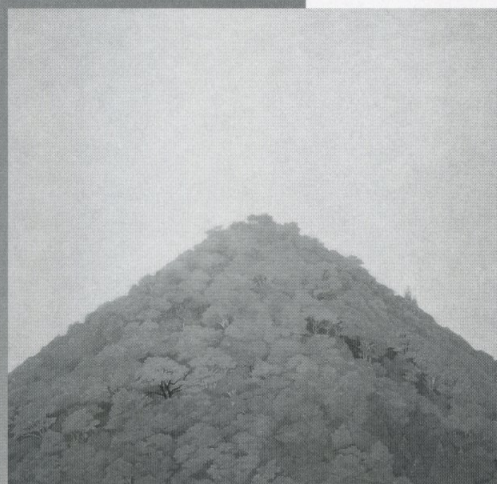
東山魁夷展



青 響(昭和35年)



山谿秋色(昭和7年)



秋嶺(昭和33年)



海の雲(雲二題のうち)(昭和24年)



山の雲(雲二題のうち)(昭和24年)

東山魁夷画伯は、現代日本画壇において、最も著名な画家として広く人々に知られています。その風景画は、心の内奥に浮かんだ情景を、实景を借りて表現したものであり、そこには、日本人の心のふるりの自然が、豊かに息づいています。しかしそれは、若いころから備わっていたものではなく、長い苦闘の末に、戦後感得したものであります。

本展覧会は、127点で構成され、「残照」(昭和22年)にはじまる、昭和20年代から30年代半ばにかけての東山芸術の確立期の作品を網羅するとともに、従来の東山魁夷展ではほとんど展示されことのなかった戦前期の作品を可能なかぎり発掘し、それに至る道程を明らかにしようというものであります。本展直前に発見された「山谿秋色」(昭和7年)は第13回帝展出品作で、60年以上の時を経ての公開となります。また、本制作のためのスケッチ・小下図・大下図も50点展示しますので、制作の過程で試みたさまざまなイメージを比較することができます。

◎講演会

7月4日(土)午後2時より

長野県信濃美術館 東山魁夷館 次長 下平 正樹
「東山魁夷の人と芸術」

7月26日(日)午後2時より

千葉市美術館 館長 辻 惟雄
「心の風景画—魁夷と広重」

当館11階講堂にて(定員150名当日先着順)

◎さや堂コンサート

ハーモニカ=新井 克輔、琴=竹内 宣子

7月25日(土)午後2時より

当館1階さや堂ホールにて

詳細は当美術館までお問い合わせください。

〈次回企画展予告〉

イギリス工芸運動と濱田庄司

8月8日(土)~9月15日(火)

千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

TEL. 043-221-2311

展覧会のご案内:ハローダイヤル TEL.043-227-8600

*なお来館者専用駐車場は少ないので、自家用車での来館はご遠慮ください。

- JR総武線千葉駅東口より徒歩15分
- JR千葉駅前から
- 京成バス大学病院行(のりば7)「大和橋」下車徒歩2分
- 京成バス矢作台市営住宅・川戸行(のりば7)または
小湊バス八幡宿駅行(のりば4)広小路下車1分
- 無料シャトルバス「チーバス」(のりば19)
11:00~18:00の毎時05分と35分に出発(水曜日運休)
「中央区役所・美術館前」下車
- 京成千葉中央駅より徒歩10分



千葉市美術館
Chiba City Museum of Art